

事業実施記録

1 事業名	令和元年度南三陸地区協働教育研修会（兼 第2回地域連携担当者等研修会）						
2 趣 旨	社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体で育むために、地域と学校をつなぐ仕組みをつくり、家庭・地域と学校が協働した教育活動を展開し、地域教育力の向上と学校教育の充実を目指す。						
3 主 催	宮城県教育委員会						
4 主 管	宮城県気仙沼教育事務所						
5 実施期日	令和元年9月20日（水） 午後1時30分～午後4時30分						
6 会 場	気仙沼市立小泉公民館						
7 参加人数	内訳	教員	行政	公民館職員	社会教育関係者	主催者	合計
	人数（人）	18	7	11	7	4	47
8 実施内容	<p>(1) 実践発表 「地域学校協働活動の推進」 発表者：亙理町教育委員会生涯学習課 主幹（派遣社会教育主事）菅原 秀樹氏</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; padding-left: 10px;"> <p>地域学校協働活動の推進に向けてのポイントは、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「地域連携担当者」と「行政の担当者」がパートナーになること。 ②同じビジョンを持つ工夫をすること。そのために、「教育計画」に活動の位置付けを行うこと。 ③必要感のある「価値ある連携」を行うこと。 ④連携を継続する仕組みを築くこと。ただし、活動することが目的化しないようにしてください。（実践発表より） </div> </div> <p>(2) 講話 「地域学校協働活動の充実から地域活性化へ」 講 師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; padding-left: 10px;"> <p>・地域学校協働活動のイメージは、「子供たちが、地域の困りごとや解決したいこと、地域を便利にしたいことなどを探して、地域の大人に聴き取り、アドバイスを受けながら、その解決方法や具体的な行動のプランを立てて行動する。その振り返りを行い、次回はどうしたらよいかを考える学習である。」「こうして、子供が地域課題の解決の体験を蓄積することによって、地域の将来を担い手が育成されることにつながるのである。」「今ある事業を、上手に変えるのがポイントである。」（講話より）</p> </div> </div>						